

ひかり



発行 児童養護施設 聖母の騎士園
園長 山下公輝

〒859-0167 長崎県諫早市小長井町遠竹2747
TEL 0957-34-2152/FAX 0957-34-4224



今を生きる!



春になりました。小鳥がさえずり、草花が咲き揃う季節となりました。聖母の騎士園では、中学校に一人、高校に三人の生徒が入学しました。真新しい学生服に身を包んだ中学一年生、私立高校の制服を凛々しく身にまとった高校生。それぞれ夢と希望とともに不安も抱え新学期を迎えました。また、他の児童生徒もそれぞれ進級し、困難にも負けず、充実した学校生活を送ってくれるものと期待しています。

私が願う事は、ただ一つ、子ども達一人ひとりが自分に与えられた能力を十分に伸ばすためには、たくさんの苦勞と失敗と涙があるかもしれませんが、今を大切に力強く生きぬいて欲しいと思います。そのために、職員も一丸となって子どもたちを応援します。



新しい年度スタート!

平成30年度がスタートしました。家庭的養護が叫ばれている今、騎士園でも試行錯誤しながら生活の中で、児童が安心して自らの持っている力をいかに発揮出来るかを園内外研修を通して専門的な観点から取り組むことに力を入れています。

入所してくる児童にとって今迄の生活様式が変わり、園生活に慣れるまで学習も大変ですが、挨拶や食事、持ち物の管理等、職員と一緒にやる事で年齢に沿った自立への力がついてきます。入所当初は児童自身受け入れがたく反発心が見られますが、いろいろな事が身に付き出来るようになってくると、職員間の意思疎通もスムーズになって会話のキャッチボールが多くなり不満が減り、児童自身が積極的に生活を楽しむようになってきています。すぐに結果は出ませんが忍耐と根気で信頼関係が深まることにつなげるよう努めます。



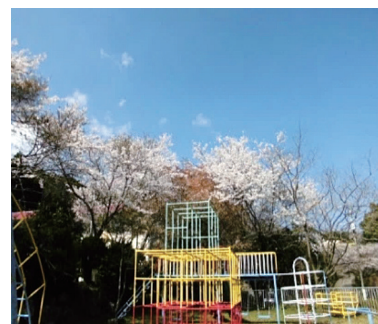
楽しかった春休み



今年、こちらの春は例年になく雨や風が少なかったこともあって、園の近所にも素晴らしい桜が咲きほこり、花に負けじと、いつもより桜見物に出かける機会に恵まれました。桜の下で食べるお弁当は格別美味しく楽しいひと時でした。

高校を卒業し退所する児童のお別れ会、中高入学祝いと外食する機会もあり、卒業する児童や入学する児童の気持ちに寄り添いながら食事を楽しみました。めったにない外食は、焼き肉やお寿司等充分頂き大満足でした。

いつもはホームみんなで行動しますが、児童との個別の関りを大事にと担当職員と一緒に長崎に出かけました。職員を独り占めにしているいい時間です。車の中やレストランでの担当児童との個別の関りがねらいです。



天気の良い日は園庭は絶好の遊び場です。高校生も入ってバスケやバレーをして楽しんでいました。



男子と女子のホームは、一緒に歩こう会を実施。アップダウンの多い道のり大丈夫かな？でしたが25キロ完歩。シャクナゲが咲き、海の見える小高い丘でお弁当を食べました。また、近くのテーマパーク山茶花高原へみんなでお弁当を作り出発！春の陽をいっぱい受け遊具で思う存分遊びまくり、帰りの下り坂をあっという間に園に到着しました。



わたしのお家！5歳女兒の作品





卒業・入学祝い



この春、高校卒業者は2名、希望に満ち新しい生活をスタートしました。在園年数が長かった二人にとって園を去る事は複雑な気持ちだったと察しますが、元気に挨拶をしてそれぞれの任地に向かいました。

みんなで応援してま～す。

4月は進級・入学と園全体が新たな気持ちで出発です。

この春の入学者は中学生男子1名、高校生男子2名、女子1名です。春休みは合格者登校日に頂いて来ている課題に取り組む姿に、高校生活の意気込みが見られ職員はホッと、後輩たちにもいい模範です。無事に卒業を～と願う気持ちです。

エールを送ります。



長崎県共同募金会より



長崎県共同募金会から平成29年度歳末助け合い運動（NHK歳末助け合い、長崎新聞社歳末助け合い）に寄せられた募金により就職・進学支援金として本園に60,000円の助成金を受けました。

この助成金は、本園の子どもたちの就職・進学支度に使わせて頂きました。

募金をお寄せ頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

～里親さんになりませんか～



里親とは何らかの事情により家庭での養育が困難になった子どもを、家族の一員として温かく迎え入れ保護者の変わりに深い愛情と正しい理解を持って家庭で育ててくださる方の事です。

里親制度は児童福祉法で定められた家庭で生活できない子どもの養育を支援するために子ども中心として考えられた制度です。

本園でも平成29年度より里親支援機関として一人ひとりの里親子と共に歩んでいこうとしています。

「里親ってなんだろう?」「もっと詳しく知りたい!」と思われる方は、本園の里親支援専門相談員にご連絡ください。



0957-34-2152 福島まで



苦情解決の 取り組み



平成29年度の苦情解決に関する意見は次の通りです。

I 個人のニーズ (嗜好・選ぶ)	3
II ケアの内容に関わる要望	6
III 職員の接遇に関わる事項	2
IV 環境・設備に関わる事項	2
V 仲間とのトラブル	7



※各ホームに意見箱を設置していますが、意見箱に入っていない項目も入れています。

聖母の騎士園では

運営方針として、キリストの教えに基づいてかけがえのない一人の人間として認め、その人格人権を尊重し、個々の児童に即した心身の健全な育成をはかり社会人として自立できるよう支援し、また社会にも貢献できる人を育てると掲げています。これに合わせて、児童憲章 全国児童養護施設協議会 倫理綱領の指針を重んじ日々の対応にあたっています。苦情に関する意見は子どもたちの本音を知りたい機会です。大い利用してみんなが気持ちよく生活して成長してくれればと願っています。

善意の心に支えられています!

平成29年10月より、ご支援を下さった皆様、誠にありがとうございました。
順不同 敬称略で掲載させていただきます。

〈寄付金 物品寄贈〉

仁川学院中高父母の会 社会福祉法人あけの星会 会長根道温子 九州労働金庫
諫早西ロータリークラブ 聖母の騎士幼稚園育友会 日本モーターボート選手会
海星学園如己の会 学校法人暁星学園 日本チャリティー活動支援協会 大久保陽子
ダスクジャパン 佐世保米軍基地 諫早ライオンズクラブ
国際ソプロチミスト諫早 KKプレナス 全国シャンメリー協同組合 アサヒ飲料
岩本八智子 諫早・多良見ロータリークラブ ホビロードハヤシ

グループホーム「さくら」 は移転しました

高来町のグループホーム「さくら」は、今迄の場所から10分ほどの所に移転する事になりました。9年間お世話になった1軒家「住めば都」男子高校生にとっては「我が家」です。家主さんありがとうございました。

新「さくら」ホーム



編集後記

久しぶりの「ひかり」発行です。各ホームとも共通する事は、入所して1年未満の児童が多い事です。

何事も児童と共に～の心を大切に！ 新井